

# 農業という職業から

## 働くことを考える

### 就業体験前に準備したいこと



コンバイン操業による麦の刈り取り



ミツバ苗の定植（水耕栽培）



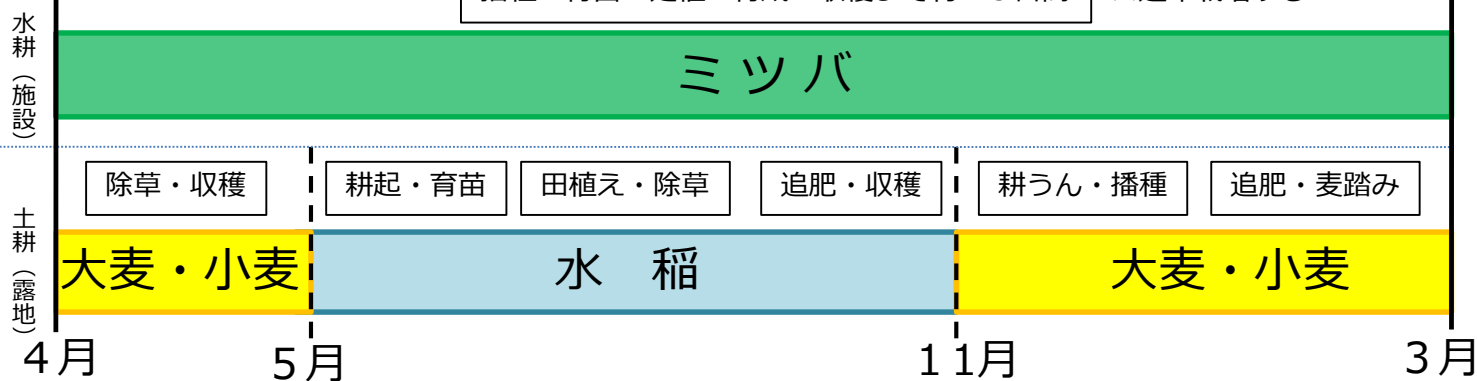
田植え機操業による稲の田植え

# 1 農業の仕事を知る ~ミツバ、米麦栽培を例にして~

## 年間のスケジュール

は 播種・育苗・定植・育成・収穫まで約45日間

※通年栽培する



### ミツバ水耕栽培

水耕栽培とは、土を使わず水と化成肥料で植物を育てる方法です。ミツバの栽培では循環する液に、苗を培地ごとパネル（発泡板）の穴に差し込んで、一緒に浮かせるDFT方式を採用しています。



### 米麦二毛作

同一の田畑で、同一年度内の異なった時期に稲作、麦作（秋播き）をします。

#### 水稻栽培

水田を利用し初夏から秋にかけて、全国各地で栽培しています。



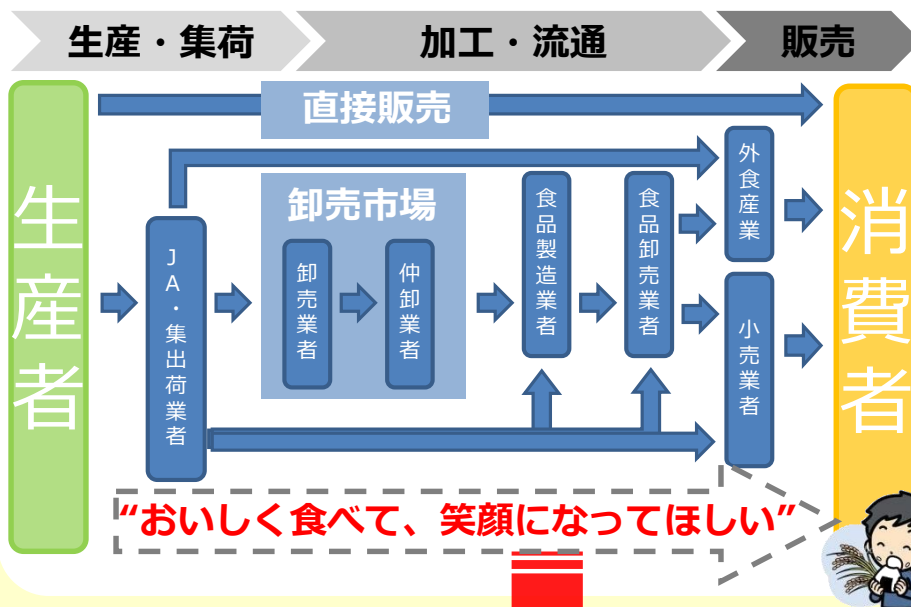
#### 大麦・小麦栽培

畑での栽培が一般的ですが、水田の裏作として秋から初夏にかけて栽培しています。



# 2 農業で働くこと ~農産物や思いを消費者に届ける~

## 農産物が消費者に届くまで



## 食糧生産

私たちが生活をする上で、最も重要なことの一つに食事があります。生産者はその食糧供給を担う役割をもっています。

生産者は、農産物を生産することだけではなく、消費者の手に渡るまで見届ける。

## 国の食糧生産者

という使命感をもって働く

## 生産者の思い

よりよいものを食べてもらいたい！

生産・管理においてある基準以上で生産された農産物には、これらの認証マークが表示されています。



## 社会貢献活動

### 地元小学校での田植え教室！

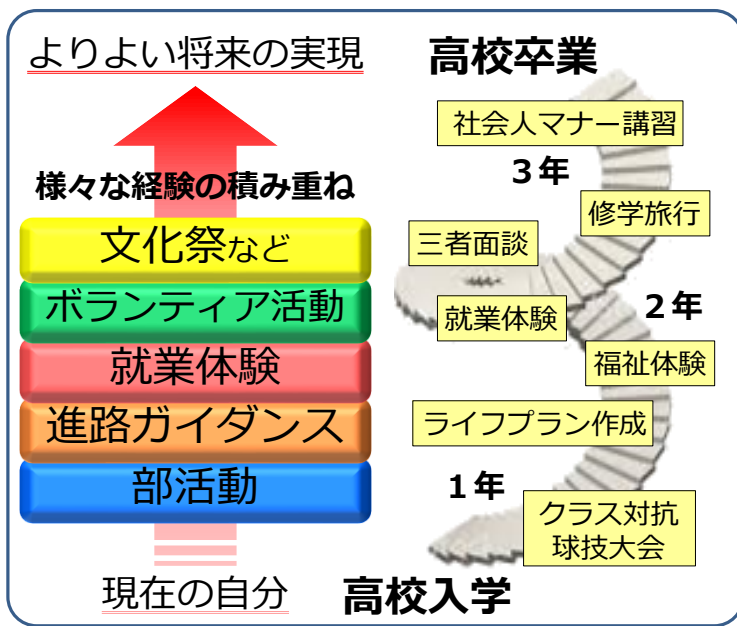
農業という職業は、農産物を消費者に提供することだけではなく、様々な場面で地域社会に貢献しています。稲の田植えから収穫までの一連の栽培作業を体験させて、子供たちに食の大切さを教えています。



小学生との田植えの様子

### 3 働くことを体験する ～よりよい将来のために～

高校生活では、よりよい将来の実現に向けて、部活動や文化祭などの校内活動、またボランティア活動などの校外活動を通して様々な経験を積み、進路や生き方・働き方を模索することが大切です。社会人インタビューでは、就業体験が高校生活において重要な学習活動であることが分かります。



#### ある農業法人で働く社会人にインタビューしました（令和2年1月）

解答例：オープンキャンパスへの参加，先輩からの進路体験談，就業体験，教師との面談，企業人からの講話

- ①進路実現に向けてモチベーションを上げられたもの
- 1位 就業体験 2位 教師との面談 3位 企業人からの講話
- ②進路学習で印象に残っているもの
- 1位 就業体験 2位 教師との面談 3位 オープンキャンパスへの参加
- ③人生に影響を与えたもの
- 1位 就業体験 2位 教師との面談 3位 企業人からの講話

### 4 就業体験に向けて ～就業体験で学べること～

#### 就業体験で期待されること

- ①異世代間も含めたコミュニケーション能力の向上を図る
- ②学校の学習と職業との関係についての理解を促進する
- ③社会的なルールやマナーを体得する
- ④自己理解を深め、職業の実像から、望ましい勤労観、職業観を身に付ける
- ⑤地域や事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つ

〔参考：「中学校職場体験ガイド」第1章 職場体験の基本的な考え方（文部科学省）〕

#### “就業体験を行う前に準備すること”として・・・

今の自分にとって必要な能力や資質を見だし、  
これからの**学校生活の見通し**を立てる

これから臨む就業体験で学びたいことを考え、  
就業体験での**目標を設定**する

例えば・・・

コミュニケーション能力の向上

学習と職業との関係性を理解

マナーや言葉遣いの習得

勤労観・職業観の醸成



生徒会活動などで積極的に**会話**する



**学ぶこと・働くこと**の意義や**将来設計**について考える



社会人としての**マナー**や**言葉遣い**を学ぶ



社会人に**インタビュー**して働くことについて話を聞く

## 5 農業で働く職業人からのメッセージ

### Q 1. 農業という職業の魅力は何ですか？

- ・天候を気にしながら仕事をしていることで季節の変化を楽しく感じることができます。  
【入社4年目Yさん(38歳)】
- ・自分が栽培に携わって、作物が成長していく様子が目で見てすぐに分かるところです。自分の仕事の成果が結果として見えたときはうれしく感じます。  
【入社4年目Mさん(30歳)】

### Q 2. 仕事する上で心掛けていることは何ですか？

- ・コミュニケーションを取ることで。社員同士でどのような小さなことでも報告・連絡・相談を大切にしています。そうすることで、自然と社員との距離が縮み、信頼関係が生まれます。  
【入社13年目Sさん(30歳)】
- ・何事も協力して取り組むことです。相手を思いやり、自分から積極的に手伝ったりしています。常に協力できる関係で仕事ができることを幸せに感じています。  
【入社1年目Aさん(20歳)】

### Q 3. 高校時代に身に付けておけばよかったことは何ですか？

- ・社会人として必要な一般知識です。社会人になると知らなくて恥をかくことがあります。インターネット等で調べれば簡単に知ることができるので、今からでも知っておいた方がよいと思います。  
【入社4年目Yさん(38歳)】
- ・何事でもよいので一つのことを続けることです。部活動や学習、資格取得、生徒会活動など学校には様々な選択肢があると思います。努力を続ける力を高校生活で磨いてほしいと思います。  
【入社4年目Mさん(30歳)】

### Q 4. 就業体験で高校生に期待することは何ですか？

- ・分からないことや聞きたいことをしっかりと言葉にして相手に伝えることです。初めての環境で体験することは大変緊張することですが、勇気をもってコミュニケーションを取ってください。  
【入社13年目Sさん(33歳)】
- ・ハキハキと行動(大きな声で挨拶と返事)することです。人の印象は第一印象で多くが決まってしまうので、日頃からハキハキと行動するよう心掛けてほしいと思います。  
【入社1年目Aさん(20歳)】

## 6 研修先の紹介

### 『 有限会社三輪農園 』

創 業：平成2年8月  
設 立：平成16年6月  
資 本 金：300万円  
所 在 地：〒379-2147 群馬県前橋市亀里町225  
代 表：代表取締役社長 三輪 民雄(認定農業者)  
従 業 員：20名(パート社員含む)  
事業内容：米、麦、ミツバの栽培  
作付面積：水田(35ha), 麦畑(45ha), ハウス(0.7ha)



麦の刈り取り作業



ミツバの水耕栽培

### ☆ 社長からのメッセージ ～これから就業体験を迎える高校生へ～



有限会社三輪農園 社長  
三輪 民雄 さん

限られた期間での就業体験では、失敗を恐れないチャレンジ精神と熱意をもって臨んでほしいです。『初めから成功する人はいない』ので、失敗から多くの事を学んでください。そして、日頃の学校生活では様々な事に挑戦し、経験することでいろいろな事を感じ取ることが大切だと思います。何事も『やらないと分からないもの』です。

#### 認定農業者とは？

認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫により、経営の改善を進めようとする各市町村から認定された農業生産者。